

五感を使って…



植いき新聞



植物いきいきサークル

第102号

発行者: 川端、菅原、
村田、孫崎、古新

利用者の皆様からお花をたくさんいただきました。机の上に飾られたお花を見ながら「これは何という花かね」と隣のひとと話が始まります。人間は約8割の情報を視覚から得ているとされています。¹⁾

ただし他の感覚器から得られる情報がないわけではありません。この日は、5つ感覚に分けてそれぞれ“感じること”を皆様に言語化していただきました。

お花を見て、聴いて_(不可)、触って、嗅いで、味わって_(不可) それぞれの感想が、お隣同士・お向かい同士での話題になり、あっという間に時間が過ぎました。

園芸活動で認知症予防!?

6月下旬に高知県にて行われた認知症に関する研修にて、認知症の中心的症状のとらえ方が、従来の記憶障害から、社会的認知の障害へとシフトしてきているとの指摘がありました。園芸活動に取り組み、知人友人がどんな野菜を作っているのか、もしかしたら自分が知っていることを知っているのではないかと、あれこれ尋ねて回る。そのうちに、例え記憶力の低下がみられても社会との関わりを継続することができるのではないかと、研修中に考えを巡らせていました。

1) http://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000181979 (2016年7月12日参照)
使用したイラスト <http://free-illustrations.gatag.net/>